

(未来) 東京YMCAホテル専門学校のSDGs宣言



少子高齢化における専門学校の学生募集の環境も、ホテル業界を取り巻く環境も、時代とともに刻々と変化しています。私たちは、社会課題の解決について主に3つのテーマを掲げ、2030年の「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に貢献してまいります。



- ▶ 価値を見出し業界を変革する（≡みつかる）
- ▶ 未来と繋がる人材を輩出する（≡つながる）
- ▶ 挑戦の連鎖で社会を良くする（≡よくなっていく）

(宣言1) 価値を見出し業界を変革する (≠みつかる)



オックスフォード大学が発表した「あと10年で消える職業・なくなる仕事」にもみられるように、ホテル業務には近い将来AI（人工知能）にとって代わられると予測されるものが多数存在します。それは、ホテルに対し単純なサービスの提供というオペレーションから、ホテルを中心に据えた「社会課題の解決」という新たなソリューションを見出すことが求められています。そして、それを支えるソーシャルグッドな経営の変革も同時に達成していくことが重要です。

▶ ホテル & 旅館業界に対するSDGs経営への支援

▶ 当校 及び 業界全体の働き方改革の推進と実現

▶ フードロス対策や再生可能エネルギー等の提案

(宣言1) 価値を見出し業界を変革する (≠みつかる)

- ▶ ホテル&旅館業界に対するSDGs経営への支援
- ▶ 当校及び業界全体の働き方改革の推進と実現
- ▶ フードロス対策や再生可能エネルギー等の提案



2022年 (1年後)	卒業生のための宿泊業専門人材紹介事業の立ち上げ 及び 経営支援
2024年 (3年後)	ホテル&旅館業界のSDGs経営支援を本格化 (コンサルティング)
2026年 (5年後)	ホテル&旅館業界全体の「SDGs白書」発行 (調査・研究・提言)
2030年 (9年後)	第5回「働きやすさ×働きがい」憧れの職場アワード (2026年開始)

(宣言 1) 価値を見出し業界を変革する (≡みつかる)

- ▶ ホテル & 旅館業界に対するSDGs経営への支援
- ▶ 当校 及び 業界全体の働き方改革の推進と実現
- ▶ フードロス対策や再生可能エネルギー等の提案



2022年4月～2022年9月までの直近6ヶ月間での取り組み

- 学生によるホテル & 旅館業界の「フードロス対策や再生可能エネルギー等」調査
- ホテル & 旅館業界向け「SDGs経営スタートアップ・パッケージ」の構築 & 提案
- 東京YMCA国際ホテル専門学校内の「働きやすさ×働きがい」アンケートの実施
- Investors in People (IIP) や Great Place to Work® (GPTW) 等の調査研究
- 東京YMCA国際ホテル専門学校内の再生可能エネルギーへの切り替え検討の調査

(宣言2) 未来と繋がる人材を輩出する (≡つながる)

すべてのモノにインターネットが組み込まれるIoT時代、さらには、あらゆる職業を席卷するAI時代の到来により、未来の社会は刻一刻と姿を変えることが予想されます。

私たちYMCAの哲学の根幹である「人と人が直接ふれあう仕事」を丁寧に育てる校風を守りつつも、時代の変化に対応した最新の教育プログラムの提供を約束することにより、未来に繋がる「SDGs×地域観光」人材を社会全体に輩出し続けていきます。

- ▶ 必修教養科目に「SDGs関連プログラム」設置
- ▶ 地域を活性化させうる「地域観光」人材の輩出
- ▶ 卒業生向け「リカレント教育」プログラム構築

(宣言2) 未来と繋がる人材を輩出する (≡つながる)

- ▶ 必修教養科目に「SDGs関連プログラム」設置
- ▶ 地域を活性化させうる「地域観光」人材の輩出
- ▶ 卒業生向け「リカレント教育」プログラム構築



2022年 (1年後)	2022年4月～必修教養科目として「SDGs関連プログラム」を設置
2024年 (3年後)	農業・漁業・林業・旅行・ITと連携し「地域観光」人材の育成開始
2026年 (5年後)	LGBTQ・留学生・障がい者など多様な学生の割合が30%を超える
2030年 (9年後)	卒業生向け「リカレント教育」プログラムを常時30コース以上運営

(宣言2) 未来と繋がる人材を輩出する (≡つながる)

- ▶必修教養科目に「SDGs関連プログラム」設置
- ▶地域を活性化させうる「地域観光」人材の輩出
- ▶卒業生向け「リカレント教育」プログラム構築



2021年10月～2022年3月までの直近6ヶ月間での取り組み

- 学生によるホテル&旅館業界の「SNSマーケティング及び活用度の実態」調査
- LGBTQ・留学生・障がい者など多様な学生の受入体制（教員の教育含む）整備
- 農業・漁業・林業・旅行・IT関連業者との連携による学生&教員向けの勉強会
- 卒業生向け「リカレント教育」プログラム第1弾として「SDGs基礎講座」開催
- 新たな印刷物はすべてFSC森林認証紙を使用し、自動販売機も缶飲料へ切り替え

(宣言3) 挑戦の連鎖で社会を良くする (≒よくなっていく)



誰もが活躍できる社会の実現へ向け「Transforming our world」にあるように「変革」することが、今、まさに求められています。私たちYMCAホテル専門学校は、その母体であるYMCAが培ってきた社会教育事業との連携を強化することによって、人や環境に配慮した様々な価値体験を提供するプラットフォームの構築にチャレンジをしてまいります。

- ▶ YMCAと連携したSDGsの共創プログラムの推進
- ▶ 学内外での新たな取組に挑戦し共感の輪を広げる
- ▶ 日本のノウハウをアジアに注入して真の国際化へ

(宣言3) 挑戦の連鎖で社会を良くする (≒よくなっていく)

- ▶ YMCAと連携したSDGsの共創プログラムの推進
- ▶ 学内外での新たな取組に挑戦し共感の輪を広げる
- ▶ 日本のノウハウをアジアに注入して真の国際化へ



2022年 (1年後)	2022年4月～の学生手帳にSDGs (宣言 及び 行動) ページを設置
2024年 (3年後)	東南アジア “初” のサテライト校を設置しプラットフォーム化へ
2026年 (5年後)	YMCAとの連携で「誰もが活躍できる社会」共創プログラムの強化
2030年 (9年後)	次の15年へ向けた「My Dream ∞ Our Drams プロジェクト」発足

(宣言3) 挑戦の連鎖で社会を良くする (≒よくなっていく)

- ▶ YMCAと連携したSDGsの共創プログラムの推進
- ▶ 学内外での新たな取組に挑戦し共感の輪を広げる
- ▶ 日本のノウハウをアジアに注入して真の国際化へ



2021年10月～2022年3月までの直近6ヶ月間での取り組み

- 学生手帳のSDGs (宣言及び行動) ページについて教員と学生による共同制作
- YMCAが行う「いじめ撲滅運動」や毎年2月「YMCAピンクシャツデー」への参画
- 学内の各所にSDGsステッカー (17Goals) を貼って、教員&学生の意識づけ強化
- ウォーターサーバーファンドを設立 (学内のサーバー設置や水資源確保への寄付)
- 留学生アンケートやヒアリングを通してダイバーシティ&インクルージョンの推進